Creative Enzymes®

KBP型ペプチジル-プロリルシス-トランス異性化酵素、組換え

Cat. No. NATE-0852

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	SlyDは、大腸菌の細胞質からの推定折りたたみ補助タンパク質であり、FKBP型のN末端プロリルイソメラーゼドメインと、おそらく無秩序なC末端テールを持っています。SlyDは、[NiFe]-水素酵素の金属クラスターの生合成において重要な因子であり、ペプチジル-プロリルイソメラーゼとしての活性を含むいくつかの活性を示します。
別名	FKBP型ペプチジル-プロリルシス-トランス異性化酵素; SlyD

製品情報

由来	E. coli
外□	無色の滅菌フィルター処理された溶液。
分子量	21 kDa
純度	95.0%以上は、(a) RP-HPLCによる分析、(b) SDS-PAGEによる分析によって決定されます。
活性	> 66 nmoles/min/µg
緩衝液	SlyDタンパク質溶液には20mM Tris pH-7.5が含まれています。
単位定義	特定の活性は、キモトリプシンを使用して、Tris-HCl pH8.0で1°Cの条件下で1分間に1µmoleのsuc-AAFP-pNAを切断する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

安定性	SlyDは4週間4°Cで安定していますが、-18°C以下で乾燥した状態で保存する必要があります。長期保存のためには、キャリアタンパク質（0.1% HSAまたはBSA）を追加することが推□されます。凍結-解凍サイクルを防いでください。